

# 美しい英虞湾の海で 海女さん体験!

古から日本各地には海女文化が脈々と受け継がれている。今回訪れた志摩半島は全国で最も多くの海女が操業しているところだ。現役の海女さんと一緒に、いざ、海へ出発!



\\ ご当地マドンナとゆく \\

# 日本全国 ゆるり アウトドア旅

今回の旅先は……三重県志摩市!



県の東南部に位置し、岬や入り組んだ海岸線が美しい。英虞湾には大小約60もの島々が点在し、市全体が伊勢志摩国立公園に含まれている。国立公園ながら居住人口が多く、人と自然との関わりを深く感じられる地域でもある。

今回の先生

杉山直子さん

現役の海女さん。海女になって7年、志摩市甲賀地区で漁業を営む。本業の傍ら体験ツアーをサポートしている。旦那さんも海士(男海女)だ。



©井村義次

今回のマドンナ

川瀬新波さん

志摩を拠点に活躍するプロサーファー。高校生のときにプロライセンスを取得した。将来は航海士になるべく、現在は水産高校の漁業専攻科で学んでいる。

素潜りなど昔ながらの方法で海産物をとる「海女」。その起源は古く、弥生時代ともいわれる。現在も海女は日本各地で活躍しているが、その約半数は三重県鳥羽市と志摩市の海で操業、この地には日本一多くの海女がいるのだ。伊勢神宮のお蔭元であることから、海女がとった良質な海産物は昔から神饌として奉納されるなど、信仰や文化も相まって色濃く息づいている。

海産物が豊富な英虞湾は島々が浮かび、複雑に入り組んだ海岸線はシーカヤックなどアクティビティーにもうってつけ。今回訪れた志摩市は、サーフィンの全国大会が開かれるほどのサーフスポットが点在し、地域振興にもひと役買っている。そこで、このほど迎えたマドンナは、「物心ついたときには、もう海の中にいました」という市内在住のプロサーファー川瀬新波さんだ。今旅は新波さんと「海女体験」にチャレンジする。

ツアーに同行してくれたのは、杉山直子さん。現役の海女だ。「3〜4月は、ワカメやヒジキアカモクなどの海藻類をとります。5月にはアワビやサザエの口開けがあって、9月中旬ごろまで海に潜ります」

と杉山さん。「口開け」とは漁の解禁のこと。漁期は数か月だが天候に左右され、海に出られるのは実質40日ほどだそう。



晴れてきた！  
気持ちいい  
行ってきま〜す！

↑漁船に乗り込んで、出港！「潜るのは学校の実習以来、ちょっとドキドキします」と新波さん。海に出ると自然と笑みがこぼれる。

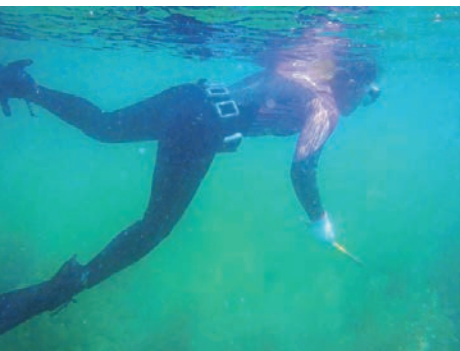
⇒「ヨモギを揉んで曇り止めにするんですよ」と海女の知恵を教わり、さっそく真似る。



よし行くぞ〜  
準備万端！



↑ウエットスーツに水中マスクを装着、腰に錘を巻きつけ、フインを履いて手には軍手。海女さんスタイルが完成だ。



↑カギノミを手に海底に目を凝らす。水中姿は、もうイッパシの海女さんだ！さて、獲物は……？



↑杉山さんが手にしている浮き輪は獲物を入れるものでもあり、海女がいる目印でもある。



↑潜り方のコツを教わる。この日は海は少々濁っていたが、温かくなるにつれて透明度が増すそうだ。

## 旅のMEMO



### 歴史ある餅屋のビール

創業450年の二軒茶屋餅角屋本店は、24年前から地ビールを製造販売している。種類豊富で、いずれも香り高く旨い。外宮前店では生を立ち飲みで楽しめる。参拝後に寄ってみては。

伊勢角屋麦酒 外宮前店  
①伊勢市本町13-6  
☎0596(20)5505  
🕒9:00~17:00 ④無

### 舌でも海を味わわねば

新鮮な海の幸をいただけるお食事処。右は数量限定の定食¥2,300。天然ものの刺身、ムツの塩焼きなど。



活魚料理 海幸  
☎0599(43)2252  
🕒11:00~15:00ごろ ④不定休

### 英虞湾を楽しむならここへ！



海女体験ツアーや志摩地中海への海上タクシー、プライベート英虞湾クルーズなどを実施。

Entrada 賢島  
☎0599(52)0888  
🕒9:30~17:00 ④不定休



さて、支度を整えて早速沖へ出航！英虞湾の入り江を間近に眺めながら、漁船で沖へ出る体験するポイントには数分で到着。風も弱く海は穏やか。船上ではさまざまな注意事項を聞く。「ガンガゼという細く長いトゲを持ったウニがいます。ウエットスーツの上からも刺さってしまうので注意してくださいね」なんでもガンガゼは海藻を食べ尽くしてしまい、磯焼けの原因ともいわれている。海女の必需品である網を張った浮き輪にカギノミを持ち、杉山さんがまづ海へ入る。新波さんもカギノミ片手に海中を散策。潜水、浮上を繰り返す。さすが、海育ちの新波さん、慣れてる！そしてぼこっと海面に顔を出した新波さんの第一声は「ガンガゼ、おったり〜」。撮影の日は清明の候。海中は藻が多く少々濁りが。海産物のシーズンにはまだ少し早かった……！季節がもう少し進むと海の透明度が増してくるといふ。なかなかできない海女体験、アナタもぜひ！



## 超軽量でコンパクト! いつでもどこでも 気軽に持ち歩く「一杯」

外出先で「ちょっと喉を潤したい」そんな場面は多い。カップ1杯分もあれば十分というときに最適なのが、真空断熱ポケットマグ。超軽量設計でカバンのポケットや荷物の小さな隙間にすりと収納できてしまうのだ。



真空断熱ポケットマグ/  
JOJ-180 4,400円

容量は180ml、重量はわずか約105g。小さく愛らしいサイズだが、真空断熱構造で高い保温と保冷力を誇る実力派。これからの季節は、スポーツドリンクなどを入れて効率良い小まめな水分補給を心がけよう!



フタ部分のパッキン(交換用に別売もあり)は着脱しやすく、隅々まで洗浄が可能だ。各パーツは扱いやすく、いつでも清潔に保てる。



素早くオープンできて、すぐに飲める開けやすいフタは、収納時はしっかりと閉まる安心設計。カバンの中でも漏れの心配はない。



飲み口部分は、口当たり良くデザインされている。熱いものも冷たいものもOK、さっとスマートに好みのドリンクを楽しみたい。



持っていることを  
忘れそうな軽さ!

「わ～、本当に軽いですね～!」と、ボトルの軽さに感動する新波さん。サーフィンの合間の水分補給も、これでばっちりだ!